入選

とけいの気もち

第一学年

H・T

わたしは、とけいの気もちをかんがえました。

えらんだりゆうは、とけいは、どうしてグルグルおなじところをまわっているのかな、とおもったからです。

もしも、じぶんがとけいだったら、おなじところをずっとまわったりするのはいやだったから、もしできたら、はんたいまわりになったけれど、とけいがおなじまわりかたをしてくれるおかげで、ねるじかんとかがわかり、とけいはおなじところはいやかもしれないけれど、ひとにとってはなくてはならないそんざいです。

だから、これからも、たくさんいろいろなものきもちをたいせつにして、いまこんなつたえたいせつな気もちなんだろうと、おもう気もちがたいせつだとわたしはおもいます。

こんどはべつのものののきもちを、たくさん

じぶんのじんせいずうっとやっていったら、

すごいにんげんになりそうです。

だからやりたいきもちが、どんどんいろいろなきもちをしって、おとなになってもものののきもちをかんがえていくじんせいが、ぼくにとって、いちばんたのしいとおもいました。